

画像工学同窓会会報

<http://www.gazo-dosokai.jp/>

初の同窓会見学会に参加して

キャノン取手事業所、帆風 竹橋工場 藤吉隆雄

2008年9月3日



ワタクシ、妙ないきさつからアルジャジーラTV（カタール）のメディア学校での、デジタル写真のクラスの講師を依頼されていた。そんな折、同窓会主催の工場見学ツアーを知る。「写真と印刷の知識をアップデートするチャンス!」と、当日の仕事オファーを断って集合場所の秋葉原駅へ向かった。

当日、集合20分前のバス車中にはすでに犬養会長の姿が。そんな大先輩とは対照的に集合時刻に現れない現役学生が2名。「そんな奴ら置いていけ」「成績表に不可をつけてやれ」という厳しい冗談?も飛ぶなか同窓会ツアーは10分遅れで出発した。

車中で弁当を食べながら約1時間、オンデマンド・プリンターを製造するキャノン取手工場へ。初めて見るセル生産の現場を熱心に見学。途中、見な

くていいところまで見ていたら北村孝司先生から、学生実験以来17年ぶりに怒られる。現場見学が延びて、その後に予定の技術レクチャーは中止となったのは大変に残念。



バスに戻った我々は一路、東京竹橋の毎日新聞社ビル地下にある帆風の工場へ。枚葉印刷機が並ぶ現場を前に現役学生たちが固まっている。学生たちに聞くと、現在のカリキュラムでは印刷技術はほとんどやらないという。彼らには印刷工場の見るべきポイントも良くわからないのであろう。ここは

帆風含めいくつかの印刷会社の工場が毎日新聞の地下にあるようで、現在の（広義）メディア産業の流れの象徴のようでとても興味深い。

ツアーの最後には階上の毎日ホールで懇親会へ。東高芸の会の江越壽雄さんに朝鮮戦争従軍の思い出を聞いたり、懇親会だけに参加した同期入学（全く記憶にない）と談笑したり。

今回の同窓会ツアーは個人的に面白い発見が多く、大変に勉強になった。開催に尽力された関係者に深く感謝。ちょっと残念だったのが、参加者がほとんど旧印刷系だったこと。次回は写真系の工場見学もしたいですね。そうすれば旧写真系の先輩たちもたくさん参加してくれますよね?

（ふじよしたかお、フリーカメラマン兼科学技術ライター。1990年入学95年卒業）

▶平成20年千葉大学画像工学同窓会関西支部総会懇親会報告

平成20年の千葉大学画像工学同窓会関西支部総会・懇親会が10月11日に開催されましたので報告します。

今年の総会はハプニング続きでした。例年、7月に実施されていましたが今年は5月にドルッパ展が開催され岩田会長も行かれ帰国後の多忙で7月開催の総会開催の事を失念していたとの事で準備が遅れてしまいました。

その後、9月開催で調整しましたが調整つかず10月4日で一旦決まりましたが開催予定会場が10月4日は加藤登紀子のイベント開催があるということで最終的に10月11日に設定されました。次ぎに開催当日、会長の体調不良で会長欠席のまま総会・懇親会が実施されました。冷や汗をかきながら急遽、私が代行で行うことになりました。また、スライド投影の用意があるということで急遽、投影用スクリーンを設定するなどなど……。

尚、大学からは小関准教授と青木准教授、印刷学会出版部からは中村社長に千葉・東京から来ていただきました。

今回出席の最長老の井下前会長の開会宣言に続いて私の方から19年度



の会計報告と現在の剰余金について説明し、出席者全員から19年度会計報告の承認を得ました。

19年度の支出の中で昨年の総会で決定した剰余金に関して会費を払っている人に対して粗品を送付することになり「2000年～2006年で4回以上の会費納入」を基準にして57人に対してお菓子を送付したことを説明しました。

引き続いて懇親会に入り小関先生から学科編成が変わったことなど学内状況の説明、青木先生からは現在の千葉大周辺の写真のスライドショー。卒業後、多くの人が母校に行っていないので周辺の変わりように一様に驚いていました。また、中村社長からは東京での同窓会の活動状況の説明がありました。毎年2月のページ展の時に総会・講

演会を開催しているとの事です。

その後、出席者全員の近況報告がありました。現役で頑張っている人、定年で仕事を止めている人など様々でしたが各人、流石に画像工学に携わってきただけに印刷・写真に関する思い入れが強く、画像工学は半導体や液晶パネルといったものに対しても活かされている。また、仕事は辞めたが写真撮影を通して人生を考えなおして見たいなどの話がされ盛り上がりしました。

90歳の井下前会長からは目の手術をしてから世の中がよりクリアに見えるようになり気力も上って若返ったなどの話がありました。確かに数年前から比べても若々しくなったような印象を受けました。宴も進み最後に戸田さんの閉会の挨拶で総会・懇親会を終了しました。総会終了後もハプニングは続きました。

誰かがパソコンのコードを忘れたということで青木先生ではないかと追いかけてきましたが既に姿見え。後日、青木先生のものであることを確認して送付致しましたが、まさにハプニング総会に相応しい終了でした。 文責：滝田(S44年卒)

▶小寺研究室同窓会レポート

2008年6月28日(土)の夕刻に銀座1丁目のカフェ・ラ・ボエムで、小寺研究室同窓会が2年ぶりに行われました。



写真(上)は、小寺宏暉先生が昨年に米国画像学会(IS&T)からボーマン賞、今年も画像電子学会から論文賞を受賞されましたので、幹事の今井良

枝さんから同窓生を代表して花束が贈呈されているところです。卒業生は、京都、仙台、長野、静岡と関東圏以外からも足を運んでくれて総勢30名が集まりました。小寺先生はご夫妻で、そして、堀内隆彦先生もご夫妻で参加され、前回に奥さんを帯同した鈴木三規君は今回1歳の娘さんも連れて来て皆のアイドルになっており、アットホームに寛げる同窓会でした。筆者を加えた計37名が1次会に参加し、10年代に亘る研究室において、年代を超えた交流が皆で和やかに行われました。

写真(右)は全員での記念撮影です。

先生方は1次会のみでご帰還されましたが、夜に強い残った20数名で2次会へ行き同窓の交流を深めたことも追記しておきます。ここでは香港からの出張帰りだった岸本靖彦君が成田から直行で終了間際に駆け付けてくれました。(斎藤了一記)



故 今村舜仁先生のご逝去を悼む

千葉大学工学部画像工学科元教授今村舜仁先生は、平成19年12月21日(金)未明、急逝されました。享年83歳でした。

先生はNHK技術研究所にお勤めの後、千葉大学工学部画像工学科教授として赴任され、以来電子画像材料に関する教育研究に多くの業績を残され、千葉大学の発展のためご尽力されました。先生は無機光導電材料の専門家で、着任後、ただちに電子写真感光体として使用されたアモルファス半導体のセレンの電荷輸送に関する研究や光磁気記録の研究などに取り組み、その研究成果は多くの学術雑誌の論文に発



表されました。また、その時に指導していただいた多くの学生は卒業後、電機産業、事務機産業、印刷画像産業などに関する企業で活躍しております。学会活動においては応用物理学会などを中心に活動され、特に電子写真学会では編集委員長を歴任され、学会誌の定期刊行や学会誌のレベル向上に寄与し、社会的に大きな貢献をされました。

先生はお酒を飲みながら議論するのがお好きで、夕方になると学生達や若い助手達を相手にお酒を楽しみながら時間を忘れて議論し、人間的なお付き合いをさせていただきましたことはいまも忘れることが出来ません。謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。(千葉大学大学院融合科学研究科教授 北村孝司)

▶ 同期会レポート



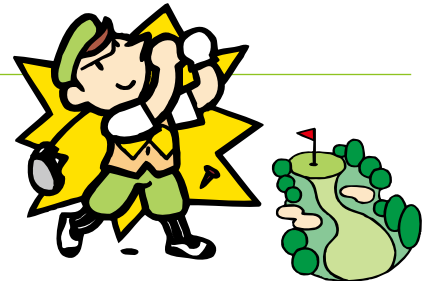
◀ 昭和42年 印刷工学科 卒業クラス会

S42年卒クラス会(千志会)は東京で立食パーティーで毎年集まっています。去年(2007.11月)は、熱海のサンミ倶楽部ホテルで17名参加のクラス会を行い、翌日はゴルフ組と初島観光と分れました。今年は2008年10月5日、横浜「森の家」にて18名参加のクラス会で、カラオケやマージャン大会を催行しました。(昭和42年卒 高橋 隆)



◀ 昭和45年 印刷科 卒業同期会

昭和45年、印刷科卒業の同期会です。毎年11月前半に、ゴルフをし、その後懇親会を持って、近況報告に花を咲かせています。(2008年11月7日、湯島にて。山内亮一)



◀ 昭和50年度卒 印刷工学科 同期会開催

工学部印刷工学科の昭和50年度卒の同期会が、平成20年11月15日(土)夕刻、横浜中華街のレストラン「楽園」で開催された。出席14名にて、それぞれの近況を報告し合い、季節の上海蟹に舌鼓を打ちながら、大いに飲み、談笑した。同期諸君も50歳台後半をむかえ、会話の内容が、「健康」であったり、「年金」であったり、お互いに年齢を実感した。(文責:齊藤芳彦)



◀ 2000年入学の“OOT”組、女子の仲良しグループです

卒業後も、学生時代より多いのではないかと思います。頻りに集まり、皆で楽しく過ごしています。卒業してから学部卒は5年目、大学院卒は3年目になりますが、仕事でもプライベートでも変化の多い時期となりました。片岡可奈さんは米国・ニュージャージー州への海外外出が決まり、10月1日に日本から旅立って行きました。また、今年に入ってから結婚ラッシュとなっています。(片岡さんの壮行会、兼皆の結婚祝いする会。2008年6月29日撮影)

卒業生がんばっています

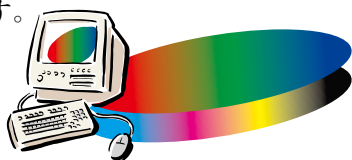
鈴木 猛

SUZUKI Takeshi

株式会社ニコン
品質保証部

1996年、印刷材料工学(山岡研究室)修了

現在、デジタル一眼レフカメラのデジタル画像評価などを行っています。修了後は印刷会社に入社しCTP、印刷機の導入立上げやCMS業務を行っていましたが、業務を通して画像の入力機器への興味が強くなり転職を決めました。CMYKからRGBへ変わりましたが画像を扱うことに変わりなく勉強の日々です。どちらの業界でも画像工学の先輩方が多く非常に心強く感じています。今後ともよろしく願いいたします。



遠藤稚子

ENDO W Wakako

株式会社
小森コーポレーション
技術本部
電送システム部

2004年、写真材料科学教育研究分野(大野、大川、柴研究室)卒業

入社後、印刷の生産管理、品質管理ソフトウェアを開発する部署に配属されました。現在は色調管理、カラーマネジメント関連システムの開発、量産フォロー業務を行っています。大学の印刷工場に1960年代の弊社のオフセット印刷機があったのですが、私の在学中には骨董品となっており、眺めるだけでした。今はデジタル制御された大型の印刷機が身近になり、インキ、水、温度、湿度等多くのパラメータに影響を受ける印刷という分野に日々奥の深さを感じています。社内の先輩方、また印刷会社様や展示会等でお会いする同じ業界にはOBの方が多く、大変貴重なつながりに感じています。

武田信也

TAKEDA Shinya

株式会社
日進堂印刷所
品質環境管理部
兼 技術部主任

1996年、岡田勝行研究室卒業

大学卒業後に地元福島市の印刷会社に就職し、DTPオペレータを経て現在はISO9001事務局や社内の技術支援(主にネットワークの管理)等を担当しています。印刷業界に身を置いていますと、度々諸先輩方や同級生と出会う機会があって、勉強させていただいたり学生時代を懐かしんだりで非常に良い刺激を受けております。また、画像工学科で学んだ写真・印刷の知識が少なからず己の糧となっている事も実感させられます。印刷という技術、そして自分が働いている印刷会社を通して、生まれ育った福島に少しでも恩返しできればと思っています。

わたしの写真館

被写体に近づくほど写真は生き生きする…私の写真観

豊田芳州



● 臨場感のあるパースペクティブ

尾瀬ヶ原で撮影したアゲハチョウの幼虫。

広角レンズで接近することで広い背景が写り込み、遠近感と臨場感が得られる。

一眼レフではできない撮影テクニックである。

オリンパスSP-350 オリンパスレンズ8〜24ミリF2.8〜4.9(8ミリで撮影) 絞りF4.5 1/320秒 ISO400 WB晴天



● 小さい最短撮影距離

アサガオの花芯を撮影した。デジタル・コンパクトカメラはレンズ直前約2センチの被写体にもピントが合う。それに加えて、レンズは細く小さいので、花の中に入れることもできる。

あたかも、虫眼鏡でのぞいているようだ。

絞りF4.5 1/80秒 ISO400 WB晴天



● シャープな画像

アブの捕食シーンを撮影した。

誌面上でほぼ六つ切に引き伸ばした写真の部分である。

一般に、レンズは焦点距離が小さいほどシャープである。

撮影時の焦点距離が8ミリなので得られたシャープさだ。

絞りF5.6 1/200秒 ISO100 WB晴天

豊田芳州（とよだほうしゅう）

写真印刷工学科 写真映画専攻 広報工学講座1965年卒。写真家。ドイツと横浜の都市風物、八ヶ岳山麓の自然を撮影している。

わたしの写真館

デジタル時代が故の原点への回帰

金盛正樹



デジタル写真の急速な進化のおかげで、写真の成否が撮影直後に確認できるし、アナログでは不可能だったことが、後処理でいろいろとできるようになった。とてもありがたいことだ。ところがすぐに写真が見られるだけに、デジタルでは写真が仕上がるまでのドキドキ、ワクワクや、仕上がったときの充実感にやや乏しい気がする。そこでここ数年、デジタルとは対極にあるモノクロ・フィルムでの撮影もライフワークにしている。もちろん自家処理。最近ではこちらの方も作品発表の場を与えてもらえるようになった。

新しい表現をデジタルで追及し、写真制作の充実感をモノクロで味わう。なんとも楽しい写真生活を送らせてもらっている。

● シャープな画像

SL修繕係の親方を、修繕成ったSLの前でパチリ!モノクロ自家処理による完全アナログ写真である。アナログならではの心地よさが漂う。

● 1/150の鉄道世界

車両1両の長さが15センチ前後、実物の1/150スケールの鉄道模型をデジタルで撮影した作品。ピントの浅くなる超接写撮影だが、ソフトを駆使し後処理を加えることによって、ピントの合う範囲を深くするほか、さまざまな効果を得ることができる。



● 超望遠圧縮効果

焦点距離300ミリのレンズに1.4倍と2倍のテレコンバータを重ねてデジカメに装着し、新幹線を撮影した。このような手法はコントラストが低下するため、フィルムではあまり使えなかったが、後処理で調節できるデジタルでは有効な手段だ。



● デジ・モノ

今、鉄道の裏方の取材に興味を持って取り組んでいる。これら2点の作品は、蒸気機関車の整備車庫の風景を撮ったものだ。デジタルで撮影したデータをモノクロに変換している。

金盛正樹 (かなもりまさき)

画像工学科 第6講座 1990年卒。写真家。主に鉄道をモチーフに作品を発表。鉄道に関わるものなら、実物の車両や人物から料理、模型、おもちゃに至るまで何でも撮影する。

学科だより

画像科学科 学科長 小林範久

9月に発行されました、「工学同窓会々報」でもお知らせいたしましたが、今年度より、工学部は6学科体制から10学科体制となり、昨年度までの情報画像工学科も、新たに画像科学科と情報画像学科の2学科へと改組されました。今回の改組では、両学科の特徴、個性を明確にしつつ、授業連携を通して、広い視野も合わせ持つ人材の育成を目指しています。

学科の最近の動きですが、9月1日付けで、青木直和先生が准教授へと昇任されました。青木先生は、小林裕

幸先生と共に、「人間の感性」に立脚した画像評価に関する教育研究に従事されており、今後のご活躍が期待されます。大学院においては、尾松孝茂先生を代表者とする「ナノイメージングエキスパートプログラム」が、文部科学省の大学院教育支援プログラム(大学院GP)に採択されました。これは、デュアル・エキスパート、国際競争力強化、自己研究管理、およびキャリアパスの、4つのプログラムを柱に、主に博士後期課程所属の大学院生への研究活動支援を行うものです。(詳細は、<http://www.tp.chiba-u.jp/nanoimaging/>をご覧ください。)この機会に、博士への門戸をたたいて頂ければと存じます。

今後の予定ですが、年明け早々の1月9日に、画像工学同窓会ほかとの共催で、「第3回情報画像産学技術交流会」を開催致します。是非、多くの会員の皆様にご来場いただき、様々な面での交流を深めるきっかけとしていただければ幸いです。下記のURLに学科の詳細が書かれておりますのでお時間がありましたら是非ご覧頂きたいお願い致します。(画像科学科URL:
<http://www.tp.chiba-u.jp/is/>)



研究室紹介 矢口研究室

矢口・溝上研究室

人間の視覚情報処理メカニズムの解明と、その画像工学への応用を目的とした研究を行なっています。主な研究対象は、色覚、パターン知覚、運動知覚、注意およびそれらの統合過程であり、これらの視覚情報処理が自然画像や実環境など、より自然な環境でどのように働くか、についても注目しています。視機能に関する知見を基礎に、画像の色・諧調再現、画質の評価、画像・映像の効果的な表示法についても研究しています。これらの研究のうちいくつかを紹介します。

● 色覚障害者にやさしいカラーデザイン

近年、カラーユニバーサルデザインの重要性がますます注目されています。色覚異常者の視覚特性のシミュレーション(図1)や、色弁別の評価実験を行うことで、その見えの特性を調べています。色覚異常者にとっての色差式、健常者には違和感がなく色覚異常者にとっては見やすい色の組み合わせ、画像変調の手法の提案を目指しています。

● 視覚メカニズムを考慮した画像の色差の定量化

画像の色の見えは、単色の色の見えとは異なり、様々な要素が含まれていて評価・予測が難しいものです。従来の「画像の色差」の計算法では画像の色差の印象を正確に表すことができません(図2)。視覚特性、画像の特性を考慮した色差の定量化を試み



図1 左から順に、正常者、それぞれL錐体、M錐体、S錐体を持たない色覚障害者(2色型第1色覚異常、2色型第2色覚異常、2色型第3色覚異常)の色の見えのシミュレーション。



図2 画像の色差の印象は、色相変調と明度変調では異なる。



図3 同じ明度の顔でも、赤みがかった顔の方が、黄色みがかった色より明るく見える。

● 肌色の客観的評価

同じ明度の顔でも、赤みがかった顔の方が、黄色みがかった色より明るく見えます(図3)。評価実験の結果、これは「顔」特有の色認識であることが確認されつつあります。

その他、静止画と動画の見えの違い、画像の鮮やかさが色の知覚に与える影響、画像と実環境での見えの違い、自然素材の本物らしさの決定要因、視覚的注意が色知覚に与える影響、などのテーマについて現在研究を行っています。

研究室は、矢口博久教授と溝上陽子助教が運営を行っています。現在、博士3名、修士9名、学部4年生7名、研究生1名が所属し、様々なテーマの研究に取り組んでいます。

同窓会からのお知らせ

昨年度の会報におきまして、平成18年度にご寄付をいただきました方のうち、以下の皆様のお名前が、掲載されておりました。
多大なご迷惑をお掛けしましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

木内豊彦(S18)・江越壽雄(S22)・接待健一(S28)・浜本実雄(S30)・木下堯博(S31)・益田聖(S37)・山崎孝(S41)・照井與泰(S44)・塚越初雄(S47)・前原東二(S50)・浅井禎和(S57)・柿倉功児(H1)・丸山晋一(H3)・宮脇修三(H8)・岸本靖彦(H10)・今井良枝(H11)・出水将樹(H14)・水澤伸也(特別)

平成19年度に、以下の皆様よりご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

松島義昭(S13)・井下広(S15)・豊福潤也(S16)・橋本輝(S16)・倉田宏(S18)・江越壽雄(S22)・鈴木元治(S22)・永谷宗次(S22)・蛭海進(S22)・伊沢正也(S23)・片山賢二(S23)・新見恵司(S23)・保坂忠夫(S23)・水野隆治(S23)・山根節雄(S23)・奥貫信(S24)・日高芳典(S24)・藤瀬季彦(S24)・飯田均(S25)・伊藤忠彦(S25)・川又健一(S25)・安野惟夫(S26)・岡田貢(S26)・久保走一(S26)・清水丈夫(S26)・鈴木利男(S26)・須長祥浩(S26)・関根慶治郎(S26)・直井正(S26)・野村蔚(S26)・野本拓夫(S26)・浜口正俊(S26)・原誠(S26)・山崎章吾(S26)・荒川光男(S28)・接待健一(S28)・大高進二(S29)・金子実(S29)・北村維敏(S29)・小松康世(S29)・竹原悟(S29)・西島成一(S29)・山本之彦(S29)・大越輝夫(S30)・鈴木洋(S30)・武田市太郎(S30)・菅麻守彦(S30)・根本安規(S30)・藤田互(S30)・三村俊二(S30)・山中康臣(S30)・吉田勝郎(S30)・太田志郎(S31)・大町哲男(S31)・木下堯博(S31)・西村芳樹(S31)・益永三生(S31)・山本芳正(S31)・岩瀬一美(S32)・蛭原富司也(S32)・佐藤要助(S32)・設楽清(S32)・鈴木章方(S32)・半沢敏雄(S32)・小川圭一(S33)・勝田禎治(S33)・木城茂雄(S33)・鈴木重敏(S33)・平本泰章(S33)・古矢泰一(S33)・会田源吾(S34)・味岡義久(S34)・小野正和(S34)・高橋恭介(S34)・深津和彦(S34)・三浦澄雄(S34)・山本和彦(S34)・柿崎謙介(S35)・小池秀人(S35)・茂垣克夫(S35)・森島毅(S35)・山田義彦(S35)・相原康雄(S36)・伊藤晴夫(S36)・岩井龍三(S36)・岩田克彦(S36)・内田浩二(S36)・勝村勇(S36)・黒川静(S36)・小里一郎(S36)・今城力夫(S36)・砂川徹(S36)・曾我部摺(S36)・田口英明(S36)・田邊功(S36)・西邦夫(S36)・安達昭三(S37)・池田カツヤ(S37)・今井幹雄(S37)・亀岡正(S37)・河野功(S37)・高橋通彦(S37)・橋本博(S37)・栗原清二(S38)・佐藤充(S38)・水野耕生(S38)・三村一俊(S38)・大竹廉治(S39)・川口勇(S39)・久保島昭(S39)・正田章(S39)・沼野博文(S39)・樋口宗治(S39)・日比野繁雄(S39)・丸山欽洋(S39)・三浦英徳(S39)・大野隆司(S40)・豊田芳州(S40)・原田澁(S40)・藤崎流(S40)・黒岩公洋(S41)・坂本洸二(S41)・菅原大作(S41)・高橋英昭(S41)・地引勝(S41)・手塚辰保(S41)・平野長愛(S41)・堀越仁(S41)・水谷雅彦(S41)・村越位光(S41)・山崎孝(S41)・池松勝紀(S42)・猪尾澄男(S42)・大久保孝雄(S42)・柏原克昭(S42)・加瀬元礼(S42)・木村太郎(S42)・斎藤光範(S42)・野中通敬(S42)・丸山良克(S42)・緑川洋行(S42)・諸岡征之(S42)・山田敏雄(S42)・山田信之(S42)・石渡農作(S43)・伊東寛治(S43)・柏倉良而(S43)・小林睦男(S43)・田口慎一(S43)・深田一弘(S43)・程谷隆(S43)・牧嶋祐正(S43)・安田忠弘(S43)・

青木隆男(S44)・佐野和雄(S44)・照井與泰(S44)・富山昌史(S44)・中島昭博(S44)・牧孝(S44)・犬養俊輔(S45)・大野仁(S45)・小島明夫(S45)・斉藤延夫(S45)・初瀬川宏(S45)・細井謙(S45)・石田浩男(S46)・佐々木孝(S46)・白鳥真太郎(S46)・杉本彩二郎(S46)・原口米夫(S46)・春田昌宏(S46)・安藤啓子(S47)・雄倉保嗣(S47)・金子茂(S47)・北村孝司(S47)・小出敏明(S47)・鈴木明(S47)・高瀬喜久(S47)・塚越初雄(S47)・寺沢賢一(S47)・山口収一(S47)・伊東郁男(S48)・内田敏夫(S48)・佐藤晴邦(S48)・定田明(S48)・出島雋士(S48)・二見一男(S48)・船戸広義(S48)・舟橋裕一(S48)・山田秀夫(S48)・藤原道生(S49)・足立純一(S50)・今井力(S50)・太田邦光(S50)・清水忠(S50)・原田義明(S50)・前原東二(S50)・秋葉斉(S51)・川口匡(S51)・下川原厚男(S51)・高柳尚義(S51)・早川忠雄(S51)・村上隆(S51)・山高修一(S51)・湯本好英(S51)・田林勲(S52)・藤森博(S52)・征矢明彦(S52)・渡辺和美(S52)・新井智(S53)・小田透(S53)・小出哲司(S53)・末光尚志(S53)・寺久保明久(S53)・中村甚継(S53)・橋本紀年(S53)・吉岡正臣(S53)・大森和志(S54)・芝木儀夫(S54)・岡松暁夫(S55)・仙波季長(S55)・徳江雅宏(S55)・中村彰男(S55)・中村正樹(S55)・平賀祐二(S55)・平林俊樹(S55)・渡辺幸保(S55)・相沢学(S56)・安齊孝之(S56)・井上充夫(S56)・岡本実(S56)・小泉徹(S56)・鈴木敦(S56)・谷本啓介(S56)・梨本一昭(S56)・若山裕康(S56)・浅井禎和(S57)・岩崎弥平次(S57)・大澤郁夫(S57)・中田規夫(S57)・中村博明(S57)・前野誠一(S57)・山田英治(S57)・坂本敬亮(S58)・鈴木英夫(S58)・平野幸和(S58)・厚見透(S59)・菊井伸介(S59)・小村博史(S59)・杉本博(S59)・中村直正(S59)・西川悟(S59)・宮田弘幸(S59)・渡辺儀典(S59)・和田政也(S59)・中村勝利(S60)・丸山美恵子(S62)・湯根陽児(S62)・岩田耕平(S63)・平山巖(S63)・大森雅久(H01)・郭國泰(H01)・喜多村淳(H02)・小山元夫(H02)・中村幹(H02)・今井淳一(H03)・郷間基臣(H03)・朝倉剛(H04)・金東君(H04)・徳留勉(H04)・大野美洋(H06)・山本衛(H07)・金木真人(H08)・鈴木慎也(H08)・宮脇修三(H08)・沖元麻希子(H09)・波多野智(H09)・宮本崇(H09)・村田靖彦(H09)・青木功(H10)・小谷口博光(H10)・岸本靖彦(H10)・今井良枝(H11)・菅原勝彦(H11)・木村泰紀(H13)・渋谷岳人(H13)・明新直也(H13)・菊池智博(H14)・片倉宙(H15)・森本太郎(H15)・遠藤稚子(H16)・渡邊直孝(H16)・田中浩之(H17)・太裕司(H17)・今壽貴(H19)・寺澤将太(H19)・横川直紀(H19)・久保宏子(特別)・水澤伸也(特別)・広橋亮(特別)

※敬称略、()は卒業年。

第3回情報画像産学技術交流会のご案内

今年度も、画像科学科、情報画像学科の教育研究内容を広く社会に公開すると同時に産業界からの社会的要望などに関する意見交換を行う産学技術交流会を、画像工学会同窓会ほかとの共催で、下記の通り開催します。

本交流会は、2004年度から、(旧)情報画像工学科として隔年で開催しており、今回で3回目となります。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2009年1月9日(金) 午後1時～午後5時40分

場所：千葉大学けやき会館 参加費：無料

プログラム【講演】

- 基調講演：『産学連携と課題 一私の経験から』
千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 教授 三宅洋一 氏
- 大学院教育支援プログラム採択報告：『ナノイメージング・エキスパートプログラム』
千葉大学大学院融合科学研究科 教授 尾松孝茂 氏
- 依頼講演：『産学連携とリコーの画像事業』
株式会社リコー 理事・技師長 平倉浩治 氏

【ポスター掲示】

(旧)情報画像工学科所属の各教育研究分野が、最新の研究成果をポスターにて紹介いたします。飲み物を片手に、自由な雰囲気で行い、意見の交換を行い、懇親も深めて下さい。

参加申込みなど詳細は情報画像工学科ホームページ

(<http://www.tp.chiba-u.jp/sangaku.html>) をご覧ください。

同窓会からのお知らせ

■ 平成19年度事業報告

1. **2007年4月より**
印刷雑誌へ同窓会情報発信の掲載を犬養会長の寄付で同窓会事業として始める
2. **2007年7月14日(土)**
関西支部総会・懇親会：キエフ(京都)
3. **2007年11月12日(月)**
幹事会：アルカディア市ヶ谷
4. **2008年1月**
会報第10号の発行
5. **2008年2月7日(木)**
第11回定時総会・懇親会：PAGE2008会場内
6. **2008年2月7日(木)**
第8回技術講演会：PAGE2008会場内
講演1：高階光幸(コンタロウ)氏(S52年3月大印卒)
講演2：湯本好英氏(S51年3月大印卒)
7. **2008年3月24日(月)**
卒業生を励ます会：千葉大学内大学会館

■ 平成20年度事業計画案

1. **2008年9月3日(水)**
同窓生と学生による関東近圏での画像関連工場見学
(キヤノン取手工場、帆風竹橋プリンティングセンター)
 2. **2008年10月9日(木)**
幹事会：アルカディア市ヶ谷
 3. **2008年10月11日(土)**
関西支部総会・懇親会：キエフ(京都)
 4. **2008年12月**
会報第11号の発行
 5. **2009年2月5日(木)**
第12回定時総会・懇親会：PAGE2009会場内
 6. **2009年2月5日(木)**
第9回技術講演会：PAGE2009会場内
 7. **2009年3月23日(月)**
卒業生を励ます会：千葉大学内大学会館
- 印刷雑誌へ同窓会情報発信の掲載を犬養会長の寄付で同窓会事業として継続

■ 平成21年度事業計画案

1. **2009年7月頃**
関西支部総会・懇親会
2. **2009年9月**
同窓生と学生による関東近圏での画像関連工場見学
3. **2009年10月or11月**
幹事会：場所未定
4. **2009年12月頃**
会報第12号の発行
5. **2010年2月**
第13回定時総会・懇親会：PAGE2010会場内
6. **2010年2月**
第10回技術講演会：PAGE2010会場内
7. **2010年3月23日(火)**
卒業生を励ます会：千葉大学内大学会館

年会費納入のお願い。m(. .)m

会報発行などの同窓会の活動運営は、主に会員の皆様からの年会費でまかなわれております。正会員の皆様には、同封の振込用紙にて年会費(1,000円)をご納入下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、情報画像工学科の卒業生には、在学時の所属コース・研究室にかかわらず、卒業生全員にお送りしておりますのでご了承ください。

● 画像工学同窓会 総会・懇親会・技術講演会のお知らせ ●

平成20年度の定時総会および懇親会を下記のように開催致します。今回も昨年度と同様に多くの方に参加頂けるようPAGE2009の開催と合わせて総会および懇親会を開催致します。是非、皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。また今年度もPAGE2009の開催時に同じ場所にて講演会を開催することにしました。機材展に参加と同時に技術講演会にも参加頂けますようご案内申し上げます。なお、ご参加の有無を同封の振込み用紙にご記入の上ご送付下さい。

記

日にち：**2009年2月5日(木)**場 所：**サンシャインシティ文化会館**

■ 画像工学同窓会第9回技術講演会

時 間：15:30~17:00

場 所：704・705会議室

参 加 費：無料

(講演者・題目は、決まり次第同窓会ホームページに掲載致します。)

■ 平成20年度定期総会

時 間：17:00~17:30

場 所：706会議室

議 題：平成19年度事業報告、会計報告
平成20年度事業計画、予算案、役員改選

■ 懇親会

時 間：17:30~19:30

場 所：704・705会議室

参 加 費：7,000円

※当日お支払い下さい。



※出席される方は、同封の振込み用紙の出欠欄にご記入の上、1月16日(金)までに到着するようお願い下さい。

● サンシャインシティコンベンションセンターTOKYO

〒170-8630 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 交通：池袋駅東口から徒歩8分 東池袋駅(地下鉄有楽町線)2番出口から徒歩3分
<http://www.sunshinecity.co.jp/information/access.html>